

情報連絡員総括表（2019年7月）

－ 静岡県中小企業団体中央会 －

本書は、静岡県中小企業団体中央会が委嘱した情報連絡員〔協同組合等の役職員 60 名〕による毎月の景況調査の集計結果です。

1. 概況報告
2. 項目別の前月・今月の DI 値の比較
3. 情報連絡員からの報告
4. 主要三指標における DI 値の推移（グラフ）

◎売上高等の9項目につき **前年同月と比較し**、好転・不変・悪化 のいずれかを回答

$$DI \text{ 値} = [(好転組合数 - 悪化組合数) / 調査対象組合数] \times 100$$

※全項目が前年同月比「不変」となった場合は、DI 値は基準値 ±0.0 (=横ばい) で推移
 ※「在庫数量」のみ、プラス値が高いほどマイナス要因と定義

1. 概況報告 （回答者数 60 名：回収率 100%）

○2019年7月のDI値は、前月との比較において「資金繰り」を除く8指標において上昇する結果となった。いずれも小さな上昇で、「販売価格」以外は基準値を大きく下回っている。

○「製造業」では、前月との比較において、主要3指標を含む6指標が改善、「在庫数量」が横ばい、「資金繰り」と「雇用人員」が悪化する結果となった。
 木材・木製品製造業では、消費増税前の駆け込み需要が伸びず先行きを案ずる声がある一方、セメント製品製造業では駆け込み需要の影響で受注確保できたとのコメントがあった。

○「非製造業」では、前月との比較において、「在庫数量」「販売価格」「雇用人員」「業界の景況」が改善、それ以外の「売上高」「収益状況」を含む4指標が悪化する結果となった。
 各業種で、天候不順や梅雨明けが遅かったことが悪い影響を与えているとのコメントが多くあった。人手不足が深刻化しているとの声も多い。

(DI値)

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
2019年7月	-21.7	-4.7	6.7	-10.0	-26.6	-13.4	-20.0	-13.4	-31.7
2019年6月	-25.0	0.0	1.6	-11.7	-28.3	-10.0	-23.4	-15.0	-41.6
増減	3.3 ↑	-4.7 ↑	5.1 ↑	1.7 ↑	1.7 ↑	-3.4 ↓	3.4 ↑	1.6 ↑	9.9 ↑

2. 項目別の前月・今月のDI値の比較

		製造業				非製造業				全体				
		DI値		増減		DI値		増減		DI値		増減		
売上高	2019年7月	-20.0	13.3 ポイント	↑	-23.3	-6.6 ポイント	↓	-21.7	3.3 ポイント	↑	2019年6月	-33.3	-16.7	-25.0
	2019年7月	10.0			-38.5			-4.7			2019年6月	10.0	-23.1	0.0
在庫数量	2019年7月	10.0	0.0 ポイント	-	-38.5	-15.4 ポイント	↑	-4.7	-4.7 ポイント	↑	2019年6月	10.0	-23.1	0.0
	2019年7月	10.0			3.3			6.6 ポイント			6.7	2019年6月	6.7	-3.3
販売価格	2019年7月	10.0	3.3 ポイント	↑	3.3	6.6 ポイント	↑	6.7	5.1 ポイント	↑	2019年6月	6.7	-3.3	1.6
	2019年7月	-3.4			-16.7			-3.3 ポイント			-10.0	2019年6月	-10.0	-11.7
取引条件	2019年7月	-3.4	6.6 ポイント	↑	-16.7	-3.3 ポイント	↓	-10.0	1.7 ポイント	↑	2019年6月	-10.0	-13.4	-11.7
	2019年7月	-20.0			-33.3			-10.0 ポイント			-26.6	2019年6月	-33.3	-23.3
収益状況	2019年7月	-20.0	13.3 ポイント	↑	-33.3	-10.0 ポイント	↓	-26.6	1.7 ポイント	↑	2019年6月	-33.3	-23.3	-28.3
	2019年7月	-10.0			-16.7			-3.3 ポイント			-13.4	2019年6月	-6.6	-13.4
資金繰り	2019年7月	-10.0	-3.4 ポイント	↓	-16.7	-3.3 ポイント	↓	-13.4	-3.4 ポイント	↓	2019年6月	-6.6	-13.4	-10.0
	2019年7月	-20.0			3.4 ポイント			↑			-20.0	3.4 ポイント	↑	2019年6月
設備操業度	2019年7月	-20.0	3.4 ポイント	↑	-20.0	10.0 ポイント	↑	-13.4	1.6 ポイント	↑	2019年6月	-23.4	-30.0	-15.0
	2019年7月	-6.7			-20.0			-30.0			-13.4	2019年6月	0.0	-15.0
雇用人員	2019年7月	-6.7	-6.7 ポイント	↓	-20.0	10.0 ポイント	↑	-13.4	1.6 ポイント	↑	2019年6月	0.0	-30.0	-15.0
	2019年7月	-36.7			-26.7			10.0 ポイント			↑	-31.7	2019年6月	-46.7
業界の景況	2019年7月	-36.7	10.0 ポイント	↑	-26.7	10.0 ポイント	↑	-31.7	9.9 ポイント	↑	2019年6月	-46.7	-36.7	-41.6

今月の業種別回答件数

	売上高		在庫数量		販売価格		取引条件		収益状況		資金繰り		設備操業度		雇用人員		業界の景況		
	増加	減少	増加	減少	上昇	悪化	好転	悪化	好転	悪化	好転	悪化	上昇	悪化	増加	減少	好転	悪化	
製造業	食料品	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0
	繊維工業	0	2	1	0	0	0	0	1	0	2	0	1	0	2	1	1	0	2
	木材・木製品	2	1	1	0	1	0	1	0	2	1	0	1	2	1	2	0	0	1
	紙・紙加工品	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	印刷	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	窯業・土石製品	1	1	0	0	1	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	2	0	1
	鉄鋼・金属工業	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1	1	1	0	0	1
	一般機器	0	2	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	3	0	1	0	2
	電気機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	送用機器	1	3	1	1	0	0	0	0	0	2	1	0	0	2	0	0	0	3
その他	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	
非製造業	卸売業	0	2	0	1	0	1	0	1	0	2	0	1	X	0	1	0	2	
	小売業	1	4	0	3	2	2	1	2	1	4	0	3		1	2	0	4	
	商店街	1	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0		0	1	0	1	
	サービス業	1	3	X	X	1	1	0	2	1	3	0	1		0	1	1	3	
	建設業	1	1			1	0	0	0	1	2	0	0		0	1	2	0	
	運輸業	2	2	2	0	0	0	1	0	1	0	0	0		0	0	1	0	1

3.情報連絡員からの報告

製造業

(水産食料品製造業)

- ・資金繰りが改善できず、今後の先行き不安から設備投資に踏み切れない。

(織物業)

- ・前月同様、受注は前年の8割と低迷が続いている。

(木材・木製品製造業)

- ・景況は悪化しているように感じる。住宅着工等にも影響しているようで、受注が落ち着いている。
- ・消費増税前の駆け込みもなく、増税後のさらなる景気悪化を心配する声が多い。
- ・先月からの天候不順で現場作業が遅れ、上棟時期がずれこんでいる。

(紙・紙加工品製造業)

- ・組合員10社分のペーパースラッジ(製紙工程でできる廃棄物)の処理の為、その搬入が行われた。大きな搬入量となり、新設備の試運転を含めた処理を開始した。

(セメント製品製造業)

- ・骨材の不足から原材料費の値上げが浸透し始めた。消費増税の駆け込み受注のおかげか、今年度は昨年度並みの受注を確保できそうである。

(生産用機械器具製造業)

- ・米中貿易摩擦の関係から、中国経済が予想以上に大きく落ち込んでいることに伴い、仕事量が減少してきていて、先の見通しが不透明。
- ・材料費を含める受注が増える傾向にある。それにより、材料費価格が高いため利益率が低下している。また、材料の管理も大変になっている。
- ・働き方改革への対応が、事業主へのマイナス部分が多いように感じられる。
- ・中国向けの他にメキシコ向け設備の一部にもキャンセルが出ている。受注が大口化している昨今、業績へのダメージを懸念している。

(電気機械器具製造業)

- ・家庭用エアコンの生産は好調に推移してきたが、天候不順による梅雨明けの大幅な遅れなどの影響により、一部調整が見込まれる。業務用エアコンは引き続き高水準の生産が続いている。

(輸送用機械器具製造業)

- ・一部業種では材料の調達が不安定な状況が続いており、必然的に在庫数量が増加している。
- ・前月同様、生産量の減少で人員に余剰感があるものの、下期の増産対応を考慮すると現有人員を維持する必要があり、人員調整に苦慮している。

(その他製造業)

- ・他県工場のライン一部が清水工場に移設されてきたが、受注の大きな増加は見られない。一部の組合員企業にて潜在的な発注の打診があるものの、慢性的な人材不足のため受注増には繋がらない。

非製造業

(セメント卸売業)

- ・民需・官需ともに低調で大口径案件も無く、5月以降は前年割れが続いている。

(機械機器小売業)

- ・6月に引き続きエアコンの買い替え需要が増え繁忙状態にある。エアコン、冷蔵庫など白物商品が好調だが、AV機器関係は低調である。

(鮮魚小売業)

- ・猛暑の影響で魚価格が高く、入荷量も少ない。また人手不足が深刻である。

(商店街)

- ・昼間の来客が少なくなっている。
- ・7月前半は気温が上がらず、アパレル系店舗は苦戦した。飲食・サービス系店舗は比較的好調だった。
- ・今年は梅雨が長く、人出が見られなかった。

(不動産取引業)

- ・動きが悪く、数少ない不動産購入希望のお客様もなかなか最終決断まで至らない。先安見込みが認知されてきているせいかと思われる。

(宿泊業)

- ・梅雨明けが遅く、また参議院選挙もあったからか、全体的に予約が伸びなかった。更に最終土曜日（7月27日）に台風6号の発生もあり出控え要因と重なった。

(総合工事業)

- ・業界の人手不足解消の一環として、特定技能外国人の受け入れに関係した法令に従い、(一社)建設技能人材機構の正社員として建設分野の「建設機械施工」及び「土工」を受け入れるための準備を上部団体が始めた。今後この制度がどのように発展していくのか、当組合も参加することになるのか成り行きを気にしている。
- ・梅雨の影響で、防水・塗装工事などに遅れが発生している。地元大型商業施設が完成間近になり内装工事が忙しい状況が続いている。

(識別工事業)

- ・着工が遅れていた物件が動き出し、繁忙期に入った業者が見られる。年末にかけて基礎工事・躯体工事はそこそこ忙しくなると見込まれる。ただ、専門工事業に関して言えば、人手不足が多忙の一因と思われ、元請は忙しくしている様子は無く、繁閑の差が出てきているように思われる。五輪後を見越した設備投資が順次発注される見通しで、一時期からは持ち直した感がある。

(道路貨物運送業)

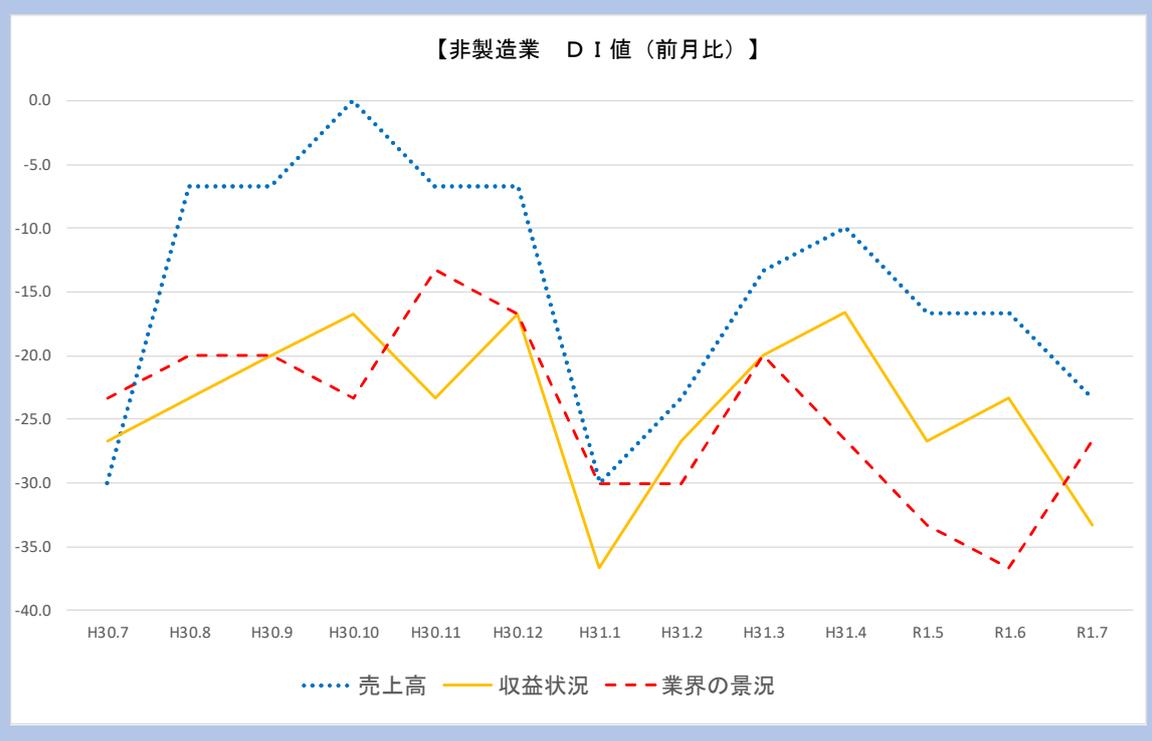
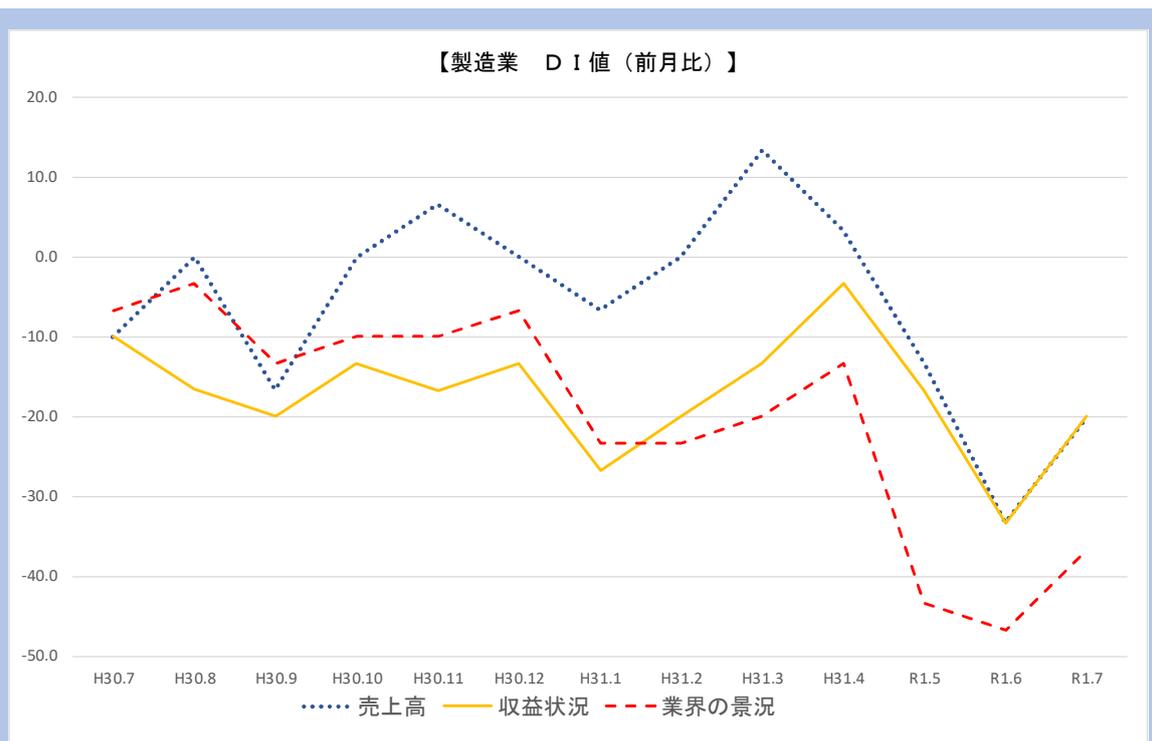
- ・7月は天候不順の影響で荷動きは低調であったため、求荷情報が増加した。梅雨明け後の月末ごろから飲料等を中心とする季節商品の荷動きが活発化し始めた。
- ・相変わらずドライバー不足が深刻な状況となっている。
- ・運賃が上昇しても、働き方改革の対応で消えていく。消費増税の駆け込み需要対応の輸送が増えている。

■2018年7月期～2019年7月期までの推移

全体	H30.7	H30.8	H30.9	H30.10	H30.11	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7
売上高	-20.0	-3.3	-11.7	0.0	0.0	-3.3	-18.4	-11.6	0.0	-3.3	-15.0	-25.0	-21.7
収益状況	-18.4	-20.0	-20.0	-15.0	-20.0	-15.0	-31.7	-23.4	-16.7	-10.0	-21.7	-28.3	-26.6
業界の景況	-15.0	-11.7	-16.7	-16.7	-11.7	-11.7	-26.7	-26.7	-20.0	-20.0	-38.3	-41.6	-31.7

製造業	H30.7	H30.8	H30.9	H30.10	H30.11	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7
売上高	-10.0	0.0	-16.7	0.0	6.6	0.0	-6.6	0.0	13.3	3.3	-13.4	-33.3	-20.0
収益状況	-10.0	-16.6	-20.0	-13.3	-16.7	-13.3	-26.7	-20.0	-13.4	-3.3	-16.7	-33.3	-20.0
業界の景況	-6.7	-3.4	-13.3	-10.0	-10.0	-6.7	-23.3	-23.3	-20.0	-13.3	-43.4	-46.7	-36.7

非製造業	H30.7	H30.8	H30.9	H30.10	H30.11	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7
売上高	-30.0	-6.7	-6.7	0.0	-6.7	-6.7	-30.0	-23.3	-13.3	-10.0	-16.7	-16.7	-23.3
収益状況	-26.7	-23.3	-20.0	-16.7	-23.3	-16.7	-36.6	-26.7	-20.0	-16.6	-26.7	-23.3	-33.3
業界の景況	-23.3	-20.0	-20.0	-23.3	-13.3	-16.7	-30.0	-30.0	-20.0	-26.6	-33.3	-36.7	-26.7



■2018年7月期～2019年7月期までの推移

売上高	H30.7	H30.8	H30.9	H30.10	H30.11	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7
製造業	-10.0	0.0	-16.7	0.0	6.6	0.0	-6.6	0.0	13.3	3.3	-13.4	-33.3	-20.0
非製造業	-30.0	-6.7	-6.7	0.0	-6.7	-6.7	-30.0	-23.3	-13.3	-10.0	-16.7	-16.7	-23.3

収益状況	H30.7	H30.8	H30.9	H30.10	H30.11	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7
製造業	-10.0	-16.6	-20.0	-13.3	-16.7	-13.3	-26.7	-20.0	-13.4	-3.3	-16.7	-33.3	-20.0
非製造業	-26.7	-23.3	-20.0	-16.7	-23.3	-16.7	-36.6	-26.7	-20.0	-16.6	-26.7	-23.3	-33.3

業界の景況	H30.7	H30.8	H30.9	H30.10	H30.11	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7
製造業	-6.7	-3.4	-13.3	-10.0	-10.0	-6.7	-23.3	-23.3	-20.0	-13.3	-43.4	-46.7	-36.7
非製造業	-23.3	-20.0	-20.0	-23.3	-13.3	-16.7	-30.0	-30.0	-20.0	-26.6	-33.3	-36.7	-26.7

